



環境と経済がまわる、森の国ドイツ

森まゆみ 四六判 240頁 予価: 本体 1800円+税
ISBN978-4-7949-6933-0 C0095

脱原発、ドイツができて、日本ができないのは、なぜ？
ドイツでは、市民が脱原発を選んでいった。
地域でお金をまわす、ドイツ流賢い暮らしとは？



かなり細分化されているゴミ処理



世界から注目されているドイツの林業



太陽光発電普及率が世界1位のドイツ



ドイツの風力発電は電力消費の1割に

ドイツは福島第一原発の事故を受け、脱原発に舵を切った。
原発に頼らない社会をどのように達成しようとしているのか？
環境都市フライブルク、町自前の電力会社をもつシェーナウなどの町を訪ね、
市民の実感に伴った環境対策、脱原発への道筋を探る。
エコビジネス先進国の底に流れる思想、土地に対する考え方、
政治的信条の違いを互いにかに認めていくことができるかなど、
エッセイスト・森まゆみが思索をしていく。

【著者について】

森まゆみ (もり・まゆみ)

1954年生まれ。大学卒業後、PR会社、出版社を経て、1984年、仲間と地域雑誌『谷中・根津・千駄木』を創刊して、聞き書き三昧の25年、記憶を記録に替えてきた。地域を歩き話を聞く中か『鷗外の坂』(中公文庫、芸術選奨文部大臣新人賞)、『青鞥』の冒険(平凡社、紫式部文学賞受賞)などの著書が生まれた。また新国立競技場のザハ案反対運動は記憶に新しいが、レンガの東京駅保存など、歴史のある建築物の保存にもつとめ、まちづくりにも携わってきた。『森のなかのスタジアム—新国立競技場暴走を考える』(みすず書房)、『東京遺産』(岩波新書)、『「谷根千」地図で時間旅行』(晶文社)などもある。

目次

- 1部 ドイツ環境紀行
- 2部 再生エネルギーを巡る旅
- 3部 市民の手で電力を

晶文社営業部 **FAX03-3518-4944** 配本申込み〆切 8月10日

新刊委託申込書	取次・貴店印	環境と経済がまわる、森の国ドイツ	申込部数	
			冊	
		森まゆみ 著	拡材希望	
	ご担当 様	【社会・エコロジー】四六判・240ページ 予価: 本体1800円+税 ISBN978-4-7949-6933-0 C0095 8月23日配本予定 晶文社営業部 TEL03-3518-4940	P O P	パ ネ ル